

第732遠忌 宗祖ご報恩 お会式 10月27日奉修



本院改修工事 勧募のお願い

お蔭様で全国のお題目をお唱えする有縁の皆様より尊い淨財が届いております。有り難く厚く御礼申し上げます。

引き続き皆様の淨財御協力をお願い申し上げます。

清澄

平成25年9・10月
合併号

発行所

〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所

天津 (有)プラザ印刷
送料共1部100円

お知らせ

10月

- 27日 14:00 お会式
- 27日 19:00 信行会(唱題行)
- 28日 5:45 曙天法要

11月

- 27日 18:30 信行会(唱題行)

12月

- 27日 18:30 信行会(唱題行)
- 31日 19:00 除夜祭
- 23:35 水行式
- 23:55 除夜の鐘

虚空蔵菩薩大祭

当山の虚空蔵菩薩は日蓮大聖人に智慧を授けられた菩薩と共に日本三体(清澄寺の他に茨城県東海村、福島県柳津)の一つにあげられた。往時の昔より多くの人々に智慧と福德を授けてくれる慈悲深い菩薩であります。

その虚空蔵菩薩の大祭が九月十三日に奉行されました。

午前八時より隨時特別祈禱が行われ、常時読経の声が静寂な境内に響き渡り、活動あふれる大祭となりました。

毎年来山される無畏講(栃木県宇都宮市 横口周二講元)様をはじめ、多くの方々が参拝されご祈祷を受けられました。

今年で二年目となるこの大祭だけのお手綱も沢山の人の目を引き、虚空蔵菩薩



の左手より五色のお手綱が導かれ、これを手にすることにより、虚空蔵菩薩と一緒になります。(写真右)



法要後、二宮別當よりこのお山の歴史、虚空蔵菩薩のご利益についてお話しがありました。

事長を修法導師に山務員修法師各聖の本願修法が行われ、摩尼殿には平日にもかからず昨年より多い信徒の方々が参列されました。また宮崎執事長により全国より申し込まれた祈願の読み上げが行われました。

甲府十三日講年参
並びに
立正大学
中尾堯名譽教授
来山

当山に年参されております甲府十二日講(山梨県甲府市 高野とめ子講元)様一行十五名の皆さんのが九月七日参籠されました。

講中の皆さんは「虚空蔵様に護られているので清澄寺での参籠は欠かせない」と話しておりました。また昨年都合で来山できなかつた高野講元様も今年は来山され元気なお姿を拝見できました。

同日には立正大学中尾堯(堯文)名譽教授一行九名も参籠されました。

中尾先生は小原法難七五〇年講演の後、講演参加者に声をかけ今回の参籠となりました。また二宮別當とは学生時代からの友人で

あり、夕方到着後ロビーで参加者を交えて歓談されておりました。翌日の朝勤には皆様参列され、法要後二宮別當がご挨拶をいたしました。皆様とても真剣に拝聴され、今年も清澄寺に来てよかつたと話されており、とてもうれしそうに下山していきました。



又、中尾先生一行は朝勤後、境内を散策され先生自ら清澄寺について説明と案内をされておりました。

觀世音菩薩

平成大修復

修復後



修復前



近年損傷が激しく見られ、又平成二十六年の午年に開帳を控えている十一面觀世音菩薩像の大修復が行われました。

昭和十二年、当時の清澄寺住職(真言宗時代)玉瀧

義秀僧正代に於いて修復ありと尊顔中に記されていた

十一面觀世音菩薩像。翌年

(平成二十六年)午年開帳

を迎えるにあたり、本年七

十六年ぶりに第十三代二

宮別當代にて修復の機縁

高まり六月吉日、松本主事

導師の下法味言上が行わ

れ、その後当山を離れ職人

の工房にて修復作業に入

られました。

修復内容としましては、

金箔師 東海堂

小笠原 治夫氏

衣の金箔押し、顔及び肌の

金粉仕上げ他、

仏師 松本 定祥氏

頭の飾り金物取り付け(新

工作)

部品の腐食、破損、不足
導師の下法味言上が行わ
れ、その後当山を離れ職人
の工房にて修復作業に入

られました。

修復内容としましては、

金箔師 東海堂

小笠原 治夫氏

衣の金箔押し、顔及び肌の

金粉仕上げ他、

仏師 松本 定祥氏

頭の飾り金物取り付け(新

工作)

顔と頭部、台座の彩色仕
上げ等。

そのお姿を取り戻しました。

仏像は美術品でも文化財

でもなく、人びとの祈りの

対象であり、破損した仏像

をお祀りするのは何處か後

ろめたい様な気持ちでいい

八月お盆以降より

山にてお開帳を受けられて

おります。

● 八月二十三日

奈良県宗務所
(森本竜静所長)



欠損部分は新たに彫刻作成

相次ぐ
団参

今年は小松原法難七五〇
年の正当年です。

全国の各宗務所様より小
松原法難の靈場本山鏡忍寺
様の報恩団参に参加され、
その後、立教開宗靈場の当
山にてお開帳を受けられて

いたとき修復された十一面
觀世音菩薩様をお参りいた
り、当山は第十七番を任さ
れて居ります。

又、平成二十六年三月十
日、四月十日まで、安房国
札觀音靈場の午年開帳があ
り、当山は第十七番を任さ
れています。

是非期間中にご参拝して
いただき修復された十一面
觀世音菩薩様をお参りいた
る事と思います。

しかし、今回の修復によ
り参拝される方々に清潔し
い気持ちでお参りいただけ
る事思います。

しいものです。

きよすみ



奈良県宗務所 朝勤

●九月十日
群馬県宗務所
(田村照明所長)
三十三名

●九月十七日
神奈川県第二部宗務所
(楠山泰道所長)
二五七名

奈良県宗務所様は、八月
二十三日に参籠し、翌二十
四日早朝、旭が森参拝の後
朝勤に参列され、宮崎執事
長より参籠への御礼と清澄

寺の縁起を交えての挨拶が
あり、それぞれ旭が森でお
題目を唱えることのできた
喜びを胸に下山されました。
群馬県宗務所様は、九月
十日午後来山され、宮崎執
事長より歓迎の挨拶の後、
お開帳が始まると信徒の皆
さんは心を込めて御焼香を
されておりました。

神奈川県第二部宗務所様
の団参は、例年開催されて
いる檀信徒信行講習会の一
環として計画され、前日十
六日の台風十八号の関東通
過もあり心配しておりまし
たが、一行は小松原鏡忍寺
の七五〇年の報恩参拝の後
バス七台で来山され、祖師
堂にて二宮別當より挨拶の
後、お開帳を受け日蓮大聖

難七五〇年正当日です。当
山では皆様のご来山を山務
一同お待ち致しております。
十一月十一日が小松原法
謝の御焼香をされました。
各団参共宗務所様の檀信
徒のお題目の声が境内に響
いております。

今年も志學館高等部 恒例の夏期合宿ゼミ

清澄寺では毎年夏休みの
時期には日蓮宗青年会主催
の寺子屋の他にも、各団体
の御利用があります。

その一つ志學館高等部
(木更津市) の夏期合宿ゼ
ミが八月十九日から二十三
日までの四泊五日に行なわれ
て開催されました。

清澄寺研修会館は志學館

高等部の合宿ゼミでは清澄

寺セミナーハウスと名を変
え、二十一名の生徒は来る

寺セミナーハウスでは清澄
寺の縁起を交えての挨拶が
あり、それぞれ旭が森でお
題目を唱えることのできた
喜びを胸に下山されました。
群馬県宗務所様は、九月
十日午後来山され、宮崎執
事長より歓迎の挨拶の後、
お開帳が始まると信徒の皆
さんは心を込めて御焼香を
されておりました。

神奈川県第二部宗務所様
の団参は、例年開催されて
いる檀信徒信行講習会の一
環として計画され、前日十
六日の台風十八号の関東通
過もあり心配しておりまし
たが、一行は小松原鏡忍寺
の七五〇年の報恩参拝の後
バス七台で来山され、祖師
堂にて二宮別當より挨拶の
後、お開帳を受け日蓮大聖

人並に虚空藏菩薩に報恩感
謝の御焼香をされました。
各団参共宗務所様の檀信
徒のお題目の声が境内に響
いております。

力の増進を祈念しつつ心を
こめて御焼香をし、朝勤後
宮崎執事長よりの挨拶で
は、生徒を激励されており
ました。



今年も志學館高等部
恒例の夏期合宿ゼミ
清澄寺では毎年夏休みの
時期には日蓮宗青年会主催
の寺子屋の他にも、各団体
の御利用があります。
その一つ志學館高等部
(木更津市) の夏期合宿ゼ
ミが八月十九日から二十三
日までの四泊五日に行なわれ
て開催されました。

清澄寺研修会館は志學館

高等部の合宿ゼミでは清澄

寺セミナーハウスと名を変
え、二十一名の生徒は来る

寺セミナーハウスでは清澄
寺の縁起を交えての挨拶が
あり、それぞれ旭が森でお
題目を唱えることのできた
喜びを胸に下山されました。
群馬県宗務所様は、九月
十日午後来山され、宮崎執
事長より歓迎の挨拶の後、
お開帳が始まると信徒の皆
さんは心を込めて御焼香を
されておりました。

神奈川県第二部宗務所様
の団参は、例年開催されて
いる檀信徒信行講習会の一
環として計画され、前日十
六日の台風十八号の関東通
過もあり心配しておりまし
たが、一行は小松原鏡忍寺
の七五〇年の報恩参拝の後
バス七台で来山され、祖師
堂にて二宮別當より挨拶の
後、お開帳を受け日蓮大聖

人並に虚空藏菩薩に報恩感
謝の御焼香をされました。
各団参共宗務所様の檀信
徒のお題目の声が境内に響
いております。

力の増進を祈念しつつ心を
こめて御焼香をし、朝勤後
宮崎執事長よりの挨拶で
は、生徒を激励されており
ました。